

高知県の土地改良

発 行：水土里ネット高知（高知県土連） 高知市上町2丁目9番12号
会 長：池 田 洋 光 TEL：088-823-5576 FAX：088-872-5046
印 刷：近森謄写堂 高知市本町5-5-18



めがね橋を渡る牛鬼（四万十町下津井）～家内安全、五穀豊穡を願う「冬もうし」

主 な 内 容

◇謹んで新年のお慶びを申し上げます	1
◇年頭のごあいさつ	2～5
◇「農業農村整備の集い」の開催	6
◇令和5年度 農業農村整備予算の確保について要請活動を実施	7
◇令和5年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要	8
◇「令和4年度統合整備推進研修（会計研修）」の開催	9
◇「水土里情報システム操作研修会」の開催	9
◇令和4年度 高知県農業集落排水事業推進協議会研修会	10
◇「令和4年度 多面的機能支払交付金の実施に係る事務研修会」の開催	11
◇「令和4年度土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」の開催	12
◇会員の活動紹介（水土里ネット土佐・水土里ネット山田堰）	13～14
◇全国土地改良事業団体連合会長表彰（野市上井堰土地改良区理事長）	15
◇「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2022」	15
◇女性理事・女性職員の登用を進めよう	16

謹んで新年のお慶びを申し上げます

水土里ネット高知（高知県土地改良事業団体連合会）

令和5年1月1日現在

会 長	池 田 洋 光	（中土佐町長）
副 会 長	大 野 哲	（高知市東部土地改良区理事長）
副 会 長	横 山 幾 夫	（安芸市長）
常務理事	釣 井 利 勝	（学識経験者）
理 事	前 田 倫 夫	（学識経験者）
〃	大久保 暢 夫	（枋ノ木堰土地改良区理事長）
〃	平 山 耕 三	（南国市長）
〃	和 田 守 也	（土佐町長）
〃	池 田 牧 子	（いの町長）
〃	板 原 啓 文	（土佐市土地改良区理事長）
〃	池 田 三 男	（津野町長）
〃	中 尾 博 憲	（四万十町長）
〃	中 平 正 宏	（四万十市長）
〃	中 平 富 宏	（宿毛市長）
代表監事	楠 瀬 耕 作	（須崎市長）
監 事	植 田 壯一郎	（室戸市長）
監 事	濱 田 精 一	（四万十市入田土地改良区理事長）

外 職 員 一 同

高知県農業農村整備事業推進協議会	会 長	板 原 啓 文	（土佐市長）
高知県農業集落排水事業推進協議会	会 長	古 味 実	（仁淀川町長）
高知県多面的機能支払推進協議会	会 長	釣 井 利 勝	（県土連常務理事）

年 頭 の ご あ い さ つ



水土里ネット高知
(高知県土地改良事業団体連合会)
会長 池 田 洋 光

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えになったことと心からお慶び申し上げます。平素は農業農村整備事業の推進並びに水土里ネット高知の運営にあたりまして、格別のご支援とご協力を賜っておりますことに心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は、ロシア軍によるウクライナ侵攻という理不尽極まりない暴挙に始まり、一向に収まる気配を見せない新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れた一年でありました。本年においても第8波とも言われる感染に備えなければならない一年になりそうです。

さて、農業・農村においては、農業の担い手不足と高齢化の進行により農地の荒廃、生産コストの高止まりによる農業所得の減少、農地や農業用水の管理に支障が生じることで、営農の継続が困難になるなど、依然として厳しい状況が続いています。

申すまでもなく農業農村整備は、国の政策課題への対応において重要な役割を果たしており、国内外との産地間競争に打ち勝つことができる持続可能な強い農業の実現のためには、実質化された人・農地プランの活用と農地の大区画化・汎用化、水田の畑地化の整備をより効果的に推進するとともに農業水利施設等の維持・更新がこれまで以上に重要となってまいります。また、農業の成長産業化のためには、担い手への農地集積やICTを活用したスマート農業の普及等、戦略的推進とともに土地改良事業の計画的・安定的実施が必要不可欠であります。加えて、激甚化する災害にも負けない国土強靱化対策の推進につきましても焦眉の急となっております。

このような状況を踏まえ、急施の防災事業の拡充として国や地方公共団体が豪雨対策で行う農業用水利施設の整備事業について、農業者の同意・費用負担なしで実施できる仕組みの創設や農地中間管理機構関連事業を拡充し、農業者に費用負担を求めない基盤整備事業を対象に、農業用排水施設や暗渠排水等の整備を追加、更には土地改良事業団体連合会の業務の見直し、土地改良区の組織変更制度の創設などが講じられたところであります。

一方、昨年末に令和5年度当初予算と令和4年度補正予算の農業農村整備事業費、政府原案が閣議決定され、令和5年度当初予算4,457億円、令和4年度補正予算1,677億円を合わせて6,134億円を確保することができましたことは、会員の皆様とともに運動を展開した成果だと感謝しております。

これからも農業・農村施策の改革を加速化させるため、地域の要望を十分に満たすだけの予算額を当初で確保できますよう、引き続き関係方面へ要請して参りたいと思います。

水土里ネット高知では、これまで培ってきた技術と経験を活用し、国が目指すべき方向の実現に向け、会員ならびに関係機関とより密接な連携を図っていく所存でございます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

年 頭 の ご あ い さ つ



全国水土里ネット
(全国土地改良事業団体連合会)
会 長 二 階 俊 博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウィズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



全国水土里ネット会長会議顧問

 しん どう かね ひ こ
 参議院議員 進 藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。高知県の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいっている覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいっている覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶にさせていただきます。

年 頭 の ご あ い さ つ



全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 みや ざき まさ お
宮 崎 雅 夫

新年明けましておめでとうございます。高知県の会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の水と土を守り、農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間、皆様方から多くのご要望等をお受けしましたが、それぞれの課題解決等に向け、一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、うち、農業農村整備事業関係については、1,677億円が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4,457億円が閣議決定され、合計額6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、そうした中で、我が国食料の安定供給を図る食料安全保障の確立に向けた取り組みが求められています。国内の食料生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向にも対応するスマート農業を含めた土地改良の促進や農業農村関係人口の拡大の取り組みなどを含め、しっかりと推進していくことが重要です。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、高知県の土地改良関係各位の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

「農業農村整備の集い」の開催 ―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―

令和4年10月20日（木）、東京都千代田区・砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、「農業農村整備の集い」が開催され、コロナ禍の中、農業農村整備関係者約1,100名あまりが参集し、本県から、高知県農業農村整備事業推進協議会 板原会長、高知県農業集落排水事業推進協議会 古味会長、当連合会 池田会長が参加した。農林水産省からは藤木 慎也農林水産大臣政務官をはじめ、青山 豊久農村振興局長ほか幹部職員が出席した。

主催者挨拶で、二階 俊博全土連会長は、男女共同参画の目標達成へ本格的に取り組むよう求めた。来賓祝辞では、藤木大臣政務官が、生産基盤の強化のため農業農村整備事業を着実に推進するとし、その必要予算の確保に全力で取り組むと力強く語った。続いて、自民党から遠藤 利明総務会長、森山 裕 T P P・日 E U・日米 T A G 等経済協定対策本部長、江藤 拓総合農林政策調査会長、武部 新農林部会長、参議院議員・進藤 金日子都道府県水土里ネット会長会議顧問が挨拶。各議員は、食料安全保障の重要性が問われる昨今にあって、その基盤を成す土地改良に対する熱い思いを語り、党としても予算確保に汗を流すことを約束した。次に、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践している、水土里やまなし・萩原 丈巳総務課長に、その顕著な活躍を称えて二階全土連会長から感謝状が授与された。要請案文は、来年の全国土地改良大会開催県である福井県の野坂 雄二福井県土連専務理事が朗読し、『食料自給力の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、令和4年度補正予算及び令和5年当初予算において、必要な予算を安定的に確保すること。』ほか8項目が全会一致で採択され、参加者一同によるガンバロウを三唱し閉会した。



全国水土里ネット 二階 俊博会長より開会挨拶



藤木 慎也農林水産大臣政務官による祝辞



参加者一同によるガンバロウ三唱

令和5年度 農業農村整備予算の確保について要請活動を実施 (農業・農村を支える基盤整備事業の推進について)

令和4年10月19日(水)・20日(木)に高知県農業農村整備事業推進協議会(会長 板原 啓文(土佐市長))、高知県農業集落排水事業推進協議会(会長 古味 実(仁淀川町長))、高知県土地改良事業団体連合会(会長 池田 洋光)は高知県の協力のもと、農業・農村を支える基盤整備事業の推進のため、令和5年度の農業農村整備事業予算の確保について、財務省、農林水産省、県選出国会議員に対し要請活動を行った。



勝俣 孝明 農林水産副大臣



青山 豊久 農村振興局長



河口 健児 主計官



尾崎 正直 衆議院議員

要請内容

1. 農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するために、農業全体を下支えする基盤整備の予算を十分に確保することを要請します。

2. 農村地域の防災・減災対策を着実に推進するための予算の確保

南海トラフ地震対策や豪雨対策としてのため池改修など、農村地域の防災・減災対策を着実に推進するために、「農村地域防災減災事業」の予算を十分に確保することを要請します。

要請者

高知県農業農村整備事業推進協議会

会長(土佐市長) 板 原 啓 文

高知県農業集落排水事業推進協議会

会長(仁淀川町長) 古 味 実

高知県土地改良事業団体連合会

会長(中土佐町長) 池 田 洋 光

令和5年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要

政府は令和4年12月23日、令和5年度当初予算政府案を閣議決定した。

農業農村整備事業費においては、令和5年度に執行可能な予算として、補正予算と当初予算を合わせ6,134億円（当初予算対前年比100.1%）を確保できた。

厳しい財政事情の中で、諸課題の解決に必要な予算を確保できたのは、偏に関係者の皆様の強い要請と熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果だと思われる。

令和5年度当初：4,457億円＋令和4年度補正：1,677億円＝6,134億円

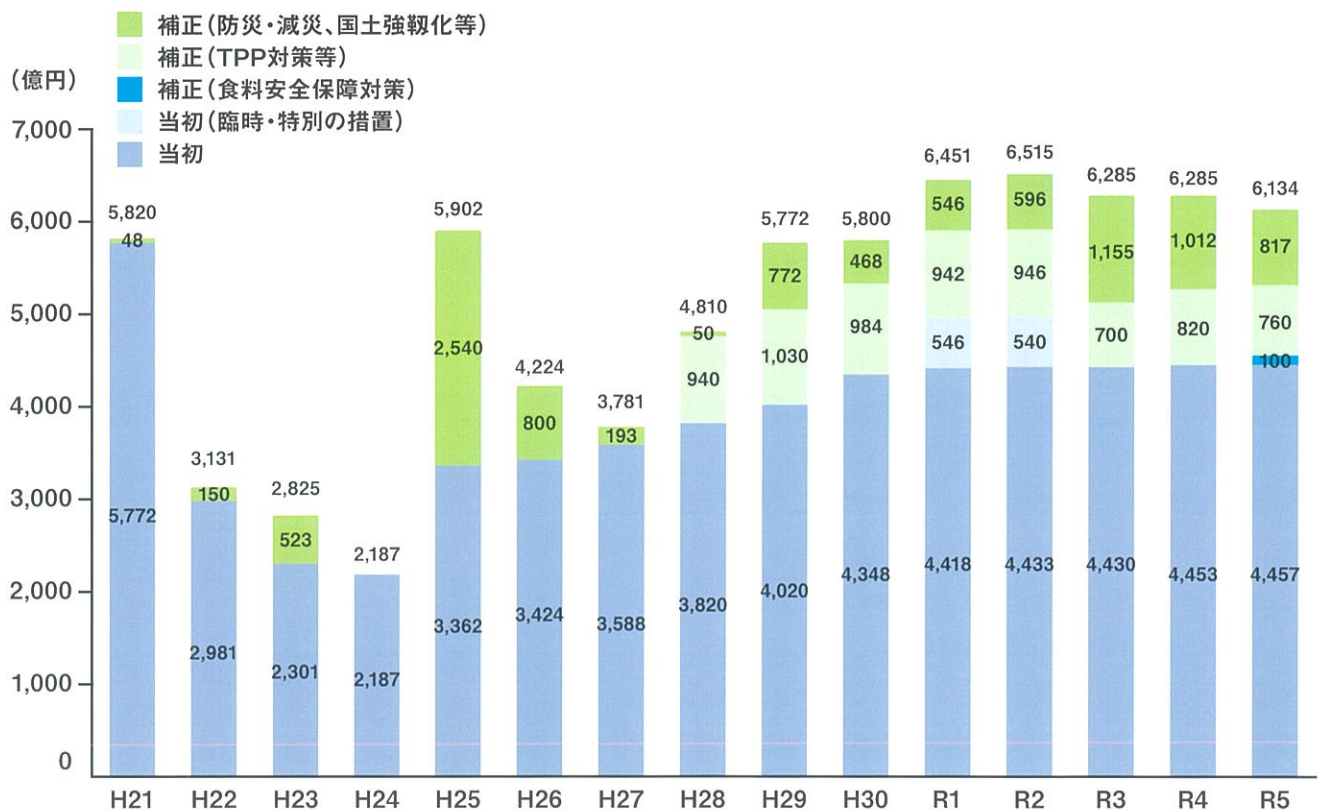
令和5年度予算等

（単位：億円）

	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算 A	令和4年度 補正予算 B	合 計 A+B
一農業農村整備事業(公共)	3,321	3,323 (100.1%)	1,677	5,000
農業農村整備関連事業(非公共) 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業、農山漁村振興交付金〕	540	543 (100.6%)	—	543
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	591 (100.0%)	—	591
計	4,453	4,457 (100.1%)	1,677	6,134

注：計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の推移



「令和4年度 統合整備推進研修（会計研修）」の開催

日時：令和4年10月13日（木）10時30分～16時00分

場所：高知会館

高知会館「飛鳥」において、「令和4年度 統合整備推進研修（会計研修）」を開催し、土地改良区役職員や県、市町村担当職員40名が本研修を受講した。

本研修は、土地改良法の改正から4年を経過して、土地改良区の貸借対照表の作成及び新会計基準による会計処理を実践する年度を迎えていることに伴い、複式簿記会計の有効活用を支援する目的で開催されている。本年度は、財務諸表等の活用に関する研修が中心となっている。

全土連から講師を迎え、「作成方法」、「基礎編」、「実践編」と研修科目を分け、より分かりやすい講義とし、複式簿記会計について理解を深める内容となった。



全国水土里ネット 金内 琴美 支援部主査による講演



全国水土里ネット 田中 克哉 支援部主幹による講演

◆ ◆ 本会では、複式簿記会計の有効活用等について、会計指導員による指導のほか、ご相談・要望に対する支援を行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。 ◆ ◆

「水土里情報システム操作研修会」の開催

日時：令和4年12月21日（水）10時00分～12時00分

場所：高知県土地改良会館3F会議室

本会は、「農地地図情報システム運用保守管理業務」の一環として、水土里情報システムの操作方法等の研修会を行った。

研修会では、水土里情報システムを利用して経営所得安定対策における作付農地の確認、中山間直接支払交付金の傾斜角の測定、多面的機能支払交付金の協定地区の確認等を行うための基本操作や情報登録等について指導をした。

参加した市町村の担当者は、実際にシステムの操作をして演習を交えながら、様々な機能と運用方法について学んだ。



研修会の様子

令和4年度 高知県農業集落排水事業推進協議会研修会 (全国町村下水道推進協議会高知県支部) 「町村下水道と農業集落排水の集い」

日時：令和4年10月27日（木）13時10分～16時40分

場所：高知県土地改良会館3F会議室

本会において、町村下水道事業及び農業集落排水事業に携わっている市町村担当職員や関係機関職員（35名）が一堂に会し、最新技術の受講や維持管理にあたっての問題点等について意見交換し、事業の円滑な推進のための方策や会員相互の情報交換を行うことを目的に開催された。

開会挨拶では、水土里ネット高知 釣井常務理事が、両推進協議会とともに事業の推進に必要な予算の確保や制度の見直しに向けた取り組みとして、関係機関等への要請活動をこれからも積極的に継続して行くと述べ、引き続き研修が行われた。

高知県公園下水道課より、「農集事業の実施状況や本年度予算及びスケジュールについて」また、日本下水道事業団からは、「下水道施設のストックマネジメント対策等の支援制度や、管渠・処理場・ポンプ場の実施例について」そして、ポンプメーカーの鶴見製作所からは、「管理者として、これだけは知っておきたいマンホールポンプの運転や制御盤の注意点等について」の講義がなされた。

最後に、水土里ネット高知からは、「昨年度より創設された「農村整備事業」での維持管理適正化計画策定への本会の取り組み等について」の報告がされ、その後の全体での、質疑応答・意見交換では、県の河野チーフにも回答の協力を頂き、今後の実務に役立つ研修会となった。



高知県土木部公園下水道課
河野 チーフ（環境施設担当）



日本下水道事業団西日本設計センター
計画支援課 松井 課長



(株)鶴見製作所四国支店
技術営業課 神藤 シニアスタッフ



研修の様子

「令和4年度 多面的機能支払交付金の実施に係る事務研修会」の開催

日時：令和4年11月1日（火）9時～（のべ5日間）

場所：中央西・中央東・安芸・須崎・幡多（県内5ブロック）

県内5ブロックにおいて、活動組織、市町村担当者を対象として、「令和4年度 多面的機能支払交付金の実施に係る事務研修会」を開催し、351組織の代表者、19市町村の担当者が参加した。

事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修、また、機能診断・補修技術等に関する研修を5年間に1回以上実施する必要があるが、昨年は技術研修を行ったことから、本年度は事務・組織運営等に関する研修を行った。研修会は、「活動組織の作成書類について」、「事業実施に係る留意点について」、「多面的機能支払交付金活動向け補償プランについて」を研修科目として進められた。

はじめに「活動組織の作成書類」の手引きを使って、基本的な活動の流れを説明した後、各書類を作成するうえでの注意点を説明した。また、全国的に活動中の事故が多く発生しており、そのなかで草刈り中の転倒・転落や、草刈り機への接触が多く発生していることから、草刈り機の安全な使い方とJA共済が制作した保険に関するDVDを上映した。参加者のアンケートでは、「事務運営に大変参考になった。」、「パソコンを使った具体的な作成方法もやってほしい。」、「国による検査の指摘事項が共有出来て良かった。」等の意見があった。また、活動に取り組む苦勞や課題などについて多くの質問が出され、有意義な研修会となった。

令和4年度「多面的機能支払交付金」に係る事務研修会日程表

日 時		地 域 ブ ロ ッ ク	
11月1日	9:00～12:00	中央西ブロック	高知市 佐川町 日高村 仁淀川町
	13:30～16:30		土佐市 いの町 越知町
11月2日	9:00～12:00	中央東ブロック	南国市 香南市 大川村
	13:30～16:30		香美市 本山町 土佐町 大豊町
11月4日	13:30～16:30	安芸ブロック	室戸市 安芸市 東洋町 奈半利町 田野町 安田町 北川村 馬路村 芸西村
11月14日	13:30～16:30	須崎ブロック	須崎市 中土佐町 四万十町 梶原町 津野町
11月15日	9:00～12:00	幡多ブロック	宿毛市 土佐清水市 黒潮町 三原村
	13:30～16:30		四万十市 大月町



研修会の様子



研修会の様子

「令和4年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」の開催

日時：令和4年12月1日（木）9時30分～17時00分

場所：ちより街テラス3F ちよテラホール

ちよテラホールにおいて、県職員や会員である市町村職員及び土地改良区役職員等34名の参加のもと、「令和4年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」を開催した。

近年、農業従事者の後継者不足、都市化の進展に伴う集落機能の低下、農業構造改革の加速化等、農業をめぐる課題が山積する中、こうした課題に対応するため、土地改良区への複式簿記の導入の推進や、民法並びに不動産登記法の改正により、これまで任意であった相続登記が義務化（令和6年4月1日）されるなど、新しい動きも出てきている。また、土地改良区における男女共同参画による、女性理事の登用を図ることなども喫緊の課題となっている。このため、基盤整備事業に不可欠な換地計画の実務に関する技術力向上の強化を図ることと、土地改良区の役職員に対する男女共同参画の推進を目的とした講義が行われ、参加者一同が熱心に受講した。



研修風景



松岡 宣明 税理士による講演

研修科目・講師

研 修 科 目	講 師
複式簿記について	松岡宣明税理士事務所 税理士 松岡 宣明
相続について 相続登記義務化の流れ ほか	高知地方法務局 統括登記官 濱田 裕美
農業基盤整備資金について	日本政策金融公庫高知支店 融資課 課長代理 有原 久史
土地改良区における男女共同参画 換地を取り巻く状況について	中国四国農政局 地方参事官（特命・事業計画） 諸岡 弘文
男女共同参画に向けた手続き等について	中国四国農政局 土地改良管理課 団体指導・資金係長 赤澤 朋子
土地改良区の監査実務について	全国土地改良事業団体連合会 支援部 部長 市村 和寿
換地の流れについて	高知県土地改良事業団体連合会 事業課 換地第二係長 沖 克彦



高知地方法務局
濱田 裕美 統括登記官による講演



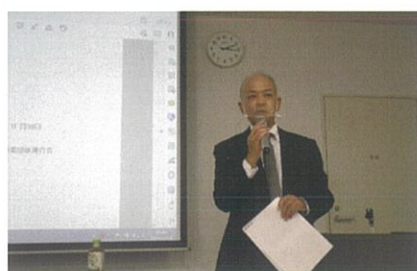
日本政策金融公庫高知支店
有原 久史 課長代理による講演



中国四国農政局 諸岡 弘文
地方参事官（特命・事業計画）による講演



中国四国農政局 土地改良管理課
赤澤 朋子 団体指導・資金係長による講演



全国水土里ネット
市村 和寿 支援部長による講演



水土里ネット高知
沖 克彦 換地第2係長による講演

ふるさと探訪学習「鎌田井筋めぐり」～水土里ネット土佐～

令和4年9月から10月にかけて、土佐市の9校の小学校4年生を対象に、「土佐市のくらしを支えてきた井筋の歴史や役割を理解し、ふるさとの自然（水）を大切にする心を育む」ことを目的として、鎌田井筋の探訪学習が行われた。

土佐市教育研究所の主催で、水土里ネット土佐（土佐市土地改良区）の協力のもと、鎌田井筋の歴史や農業用水の役割について説明があり、現地学習では、水の大切さや役割について学んだ。児童達は真剣な目で説明に聞き入り、学んだこと疑問をもったことをこれからの学習に生かしていきたいと感想を述べた。

鎌田井筋めぐりの日程表

9月15日	新居・高石小学校	10月4日	高岡第一小学校2組
9月28日	蓮池小学校A組	10月11日	波介・北原・戸波小学校
9月30日	蓮池小学校B組	10月12日	高岡第一小学校1組
10月3日	宇佐小学校	10月19日	高岡第二小学校

探訪学習の行程



八田堰の製作について説明する森下先生（左）
（昔の提灯測量を再現）



レベル測量を体験



日高村立岩取水操作室にて操作説明する
水土里ネット土佐 一森 主事



日高村立岩取水ゲート

会員の活動紹介その2

「感謝米運動と紙芝居」～水土里ネット山田堰～

山田堰井筋土地改良区は物部川から取水し、受益地区の農地に配水している。毎年変わることなく物部川の恩恵を受けることができるのは、物部川源流で暮らす方々による山の管理のおかげであるため、その感謝の気持ちとして、令和2年度より香美市物部町の方々に感謝米を届けている。

今年度は南国市で収穫された新米3kgを、8地区108世帯の皆さんへ民生委員さんのご協力を得て各集落に届けた。



感謝の気持ちをお米に託す新谷 正雄 理事長

また、一昨年末より小学4年生を対象とした出前授業において、日常生活に欠かせない「水」の大切さを知ってもらうため、山田堰を建設した野中兼山を題材にした紙芝居を改良区が作成し披露している。児童達の身近にある山田堰をもっと知ってもらうため、語り手が土佐弁を使うなど、工夫をこらし楽しい授業となるよう取り組んでいる。



熱心に耳を傾ける児童

全国土地改良事業団体連合会長表彰 (野市上井堰土地改良区理事長)

去る令和4年11月22日（火）、第44回全国土地改良大会が沖縄県で開催され、土地改良事業功績者表彰では、本県から野市上井堰土地改良区 安藝 紀雅 理事長が、全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された。

野市上井堰土地改良区の受益地は、県下三大河川の一つである物部川を中心に開けた肥沃な香長平野の中心部に有り、温暖で冬場の日照時間も長く、気象条件に恵まれた平坦地である。そのため、農業生産に適した収益性の高い施設園芸が盛んであり、又藩政時代に野中兼山が築いた遺構により県下有数の米生産地として発展した。

氏は、平成25年4月から令和4年3月まで、物部川土地改良区連合（南国市田村堰、物部堰井筋、久枝、野市上井堰、野市下井堰、吉原土地改良区の連合組織）の理事並びに理事長として、物部川統合堰関係機能保全に関する立案に携わり、平成26年度～農業水利施設保全計画合理化事業により、堰・水路等の診断を行い、それを基に令和元年度には農業水路等長寿命化・防災減災事業の採択を受けた。令和2年度に統合幹線水路の改修工事、令和4年度にはゲートの改修工事に着手したが、工事に至るまでには、香南市、南国市、香美市と度重なる協議を行いながら、6つの土地改良区との調整にも手腕を発揮するなど、事業推進に大きく貢献し、施設の機能向上と長寿命化・防災減災に対して大きな役割を果たした。

氏の姿勢は、組合員、地元住民のみならず関係機関からも高い信頼を得ており、土地改良事業の推進及び農業振興へ貢献した功績は極めて顕著であり、常に先を見通し考え行動する力は、今後ますますの活躍が期待される。



安藝 紀雅 理事長（左）と本会釣井 常務理事

未来へつなごう！ふるさとの水土里 子ども絵画展2022

都道府県水土里ネットと全国水土里ネットの共催事業である「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展2022」に、全国各地の子ども達より約3,000点の応募作品が寄せられ、作品の中から入賞6点、企業賞25点、入選126点、地域団体賞44点を決定した。

本絵画展は、「子供達に農村の自然、風景、伝統文化、更に農業用水路などの施設に興味をもってもらい、農業や環境を守ることの大切さに理解を深め、その思いを大人達に届ける」ことを目的として毎年開催されている。

本県においては、地域団体賞「水土里ネット高知会長賞」を、高知市立鏡小学校1年生 亀川源平さんが受賞された。

水土里ネット高知会長賞



高知市立鏡小学校 1年生 亀川 源平さんの作品
「どろたあそび」

女性理事・女性職員の登用を進めよう

令和7年度における土地改良区の女性理事10%以上の登用、女性理事が登用されていない土地改良区をゼロにするという目標が掲げられております。（「第5次男女共同参画基本計画」）

土地改良区の運営・農村の環境整備に、地域農業の振興に重要な役割を果たしている女性の能力を活かしてみませんか。高知県下94の土地改良区等の内、9の土地改良区（令和4年12月現在）が女性理事を登用しています。



女性理事登用

2025年度までに
女性理事が占める割合を **10%** 以上に！

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

計画：第5次男女共同参画基本計画（2020.12）、
土地改良区長期計画（2021.3）

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体で役員を務めている方などの参画が期待できるのではないのでしょうか。



女性職員登用

働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無意識の思い込み（お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できるところから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。



全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

技術力向上のため資格取得の取り組み

本会職員の技術力向上を目指して資格取得に積極的に取り組み、以下の者が資格を取得しましたのでご紹介します。

土地改良換地士（令和4年11月）

事業課 調査設計第2係長 山中 隆二

土地改良事業・財務管理強化の相談は、水土里ネット高知へ

高知県土地改良事業団体連合会では、土地改良事業に関する相談及び助言、指導や複式簿記会計に関する相談業務を、毎月第一月曜日に土地改良会館にて行っています。

お気軽にご相談ください。

相談日：毎月第一月曜日（休日の場合は翌日）

土地改良会館 3F 会議室

※緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。



mail : mizututi@mnet-kochi.jp

農業農村整備の調査測量設計・換地業務・
農業集落排水事業等土地改良事業のご相談は



水土里ネット高知

高知県土地改良事業団体連合会

〒780-0901 高知市上町2丁目9番12号

TEL 088-823-5576

FAX 088-872-5046

HP <http://www.mnet.kochi.jp/>

幡多支所 〒787-0028 四万十市中村山手通19(幡多総合庁舎内)

TEL 0880-35-3314

FAX 0880-35-3316